

KAGAWA アンバサダーからのお願い

～小濱 妙美さん～

2017年2月

6年前の3月…私は、約25年間の海外生活（スイス、イタリア、ドイツ、ニューヨーク）にピリオドを打ち、帰国しました。日本の由緒ある都・京都に居を移し、京都市立芸術大学に着任、後輩の指導にあたることとなったからです。それまでの声楽家としてのオペラやコンサート等の舞台に全力投球だった生活から一変し、教育現場が舞台と化しました。

大学業務にも慣れ、ようやく3年が過ぎた頃から、海外への行き来が始まりました。ひとりでヨーロッパの音楽大学を訪問、幾校かを視察…その中で、オーストリア・ザルツブルクにあるモーツァルテウム大学の有名な作曲家フェーベル教授とピアニストクライナー教授お二人との話が進み、3年前よりザルツブルク・モーツァルテウム大学に招かれるようになりました。公開レッスンやコンサート等に出演する機会が増え、私が出演することで近い将来、両大学生交換留学の道が敷けたらと願っています。また、昨年よりアメリカの音楽大学とも交流がスタートし、学生達の海外留学の可能性が大きく膨らみました。《京都から海外に発信!!》…私はこの言葉を目標と掲げ、よりグローバルな学生をひとりでも多く輩出したいと願っています。音楽に国境はなく、また素晴らしい音楽が、もっと人と人を結ぶ絆となりますように。



ザルツブルク モーツァルテウムにて

また、昨年より京都芸大の《顔》でもある『大学院オペラ』の総括を担い、昨年はグランドオペラ「カルメン」で大成功をおさめ、そして今年はこの間「ラ・ボエーム」で大好評を博しました。卒業生、修了生達が外の現場において戸惑うことのないよう、世界のオペラ劇場のシステム・体制をベースに、

舞台人としての心構えは勿論、舞台裏の在り方等も並行して教えています。若者達は誰でも無限大の可能性を持ち合わせていると私は信じています。彼等と共に常に前を向き、世界を見て、真っ直ぐ歩いて行くこと、また喜怒哀楽と一緒に味わいながら、彼等の成長を見守る役目…この天職に恵まれ、これからもまだまだ走り続けたいものです。

香川・瀬戸内海の穏やかな自然の中、生まれ育った私の使命—それは自分が感謝して止まない香川のあたたかい人達のこと、香川の良さ、香川県の名所や特産物等香川の素晴らしさを、出逢う人皆さんに話し伝えていくことです。学生達にはとりわけ、故郷を誇りに思い、故郷の素晴らしさをいつ・どこにいても説明出来るようにと教えています。今後も、私は名誉大使の名に恥じぬよう、海外は勿論、京都においてももっともっと香川の素晴らしさを発信していきたいのです。



スイス・ジュネーブにて



小濱 妙美（こはま たえみ）さん

声楽家・京都市立芸術大学教授。日本・京都府在住。

KAGAWA アンバサダーを平成 20 年 4 月 1 日に委嘱。

坂出市出身。

オペラ歌手として世界の劇場で活躍。2006 年にはカーネギー・ホールにてリサイタル開催。

☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。